

庁内の節電取組について

1 庁内の節電取組について

政府からの節電協力呼び掛けを受け、庁舎内での節電対策については以下のとおり取り組んでいる。

(1) 本庁舎としての取組（財産運用課6月29日に通知済）

- 15時以降、5階以上の照明の間引き
- 15時以降、エレベーター1機の停止
- 庁内放送による周知（14時・15時）
- 【R5新規】更衣室やミーティングルームの冷房見回り（9時、15時）
- 【R5新規】トイレの温熱便座の切設定

【庁舎の冷房運転についての補足】

- 執務室（18時に熱源終了）

→体調管理の面からも、**超過勤務の削減が節電にも効果的。**

- 会議室・更衣室・ミーティングルーム（21時に熱源終了）

→熱中症対策のため、最小限の範囲で空調を活用することが可能。

過剰な温度設定や不在時の運転を是正することが効果的。

(2) 各課事務室内・出先施設での取組例について（環境政策課6月29日に通知済）

→「別紙」ご参照

※7月5日（水）より毎週水曜日、庁内パソコンへのポップアップにて

職員へ節電行動の呼びかけを実施。（環境政策課）

2 参考資料

家庭向け節電リーフレット（資源エネルギー庁作成）

【別紙】

「事務室内及び出先職場における取組」

1. 各課事務室内での取組例

No.	項目	取組内容
1	照明 (消灯の徹底)	使用していない事務スペースや会議室の消灯を徹底
		会議室使用後の消灯を徹底
		昼休み時は消灯（カウンターや窓口業務に支障のある場所は除く）
		空調を使用せずに勤務できる場合はブラインドを上げて採光
		時間外勤務を行う場合は、必要な箇所みの部分消灯を実施
2	空調 (過剰使用の抑制)	冷房は 28 度を設定温度の基本とする（調理室等室温管理が必要な場合は熱中症の発生等健康管理に十分注意し、適正に調整する）
		空調使用時は、ブラインド等を活用し空調効率を高める
		使用していない部屋・事務室及び退出時の空調スイッチオフを徹底
		短時間の電源入り切りは行わない（概ね 30 分以内）
		簡易な打合せは会議室を使用せず打合せスペース等を活用
3	パソコン機器等 (待機電力の抑制)	離席時にはパソコンをスリープ状態にする
		デスクトップパソコンではモニターの電源もオフにする
		スイッチ付き 0A タップを使用する（退庁時はスイッチを切る）
		長期間使用していない機器はコンセントを抜く
4	その他	印刷を可能な限り行わない
		ビジネスカジュアルの徹底（空調設定に対応した軽装勤務）
		時間外勤務の縮減により、夜間照明灯・空調利用の削減

2. 出先職場における施設管理の取組例

No.	項目	取組内容
1	照明 (消灯の徹底)	少人数利用時の一部消灯
		使用していない共用スペースや貸し室の消灯を徹底
2	空調 (過剰使用の抑制・ 適正使用の徹底)	事務作業等時は、部屋を分散せずに 1 か所にまとまって行う（使用する会議室の抑制）
		冷房は 28 度を設定温度の基本とする。施設利用者スペースは、熱中症の発生等、利用者の健康管理に十分注意し、適正に調整
		使用していない共用スペースや貸し室の空調停止を徹底
		空調フィルターの清掃を定期的に行う
		室外機への散水や日射遮蔽
3	エレベーター 使用自粛	エレベーターの停止（複数台ある場合は利用状況により停止する）
		3フロア以内の移動はエレベーター利用を自粛（必要な場合を除く）
4	電気ポットの節電	職員向け電気ポットは終業前、余裕をもってコンセントを抜く
5	便座の節電	温水便座の節電モード徹底（節電モードがない場合は設定を一段階下げる）
		便座のふたを閉める
6	冷蔵庫の節電	冷蔵庫の冷却設定を季節により強弱切り替える。
		冷蔵庫に物を詰め込みすぎない（冷風が循環し効率的に庫内冷却できる）

ご家庭でも省エネに 取り組みましょう

暑い夏は、エネルギーの使用が増える季節です。
少しの工夫でできる省エネへの具体的な取り組みをご紹介します。
ぜひご家族みんなで取り組みましょう。

全家庭で消費電力の1%を節電すると、
毎日、コンビニ約1万8千店舗が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。

照明

- ✓ 不要な照明は消しましょう。

節電効果 約2%



- ✓ リビングや寝室の照明の明るさを下げましょう。

節電効果 約3%

エアコン

- ✓ 室内の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げましょう。

※熱中症にご注意ください。

節電効果 約5%



- ✓ 日中は“すだれ”やカーテンなどで窓からの日差しを和らげましょう。

- ✓ 目詰まりしたフィルターを清掃しましょう。

節電効果 約2%

冷蔵庫

- ✓ 冷蔵庫の冷やしすぎを避け（強→中）、扉を開ける時間を減らし、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。

※食品の傷みにはご注意ください。



節電効果 約1%

温水 洗浄便座

- ✓ 温水のオフ機能、タイマー節約機能を利用しましょう。機能がない場合、使わないときはコンセントからプラグを抜きましょう。



節電効果 0.3%

テレビ ・PC等



- ✓ リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切り、長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜きましょう（テレビ、PC、プリンターなど）。

節電効果 約1%

- ✓ テレビは省エネモードに設定し、画面の輝度を下げましょう。見ていない時は消しましょう。

節電効果 約2%

ガス給湯器 (風呂)

- ✓ 入浴間隔を短くし、シャワー時間を短くしましょう。



自動車

- ✓ 自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践して見ましょう（ふんわり）アクセル、減速時は早めにアクセルを離す、無駄なアイドリングをしない等）。



※「節電効果」は点灯時（19時頃）の家庭の電力使用量に対する節電効果の概算値で、地域・時間帯による違いを考慮に入れた全国平均の値です。地域・時間帯により節電効果は変動します。

経済産業省では、企業向けに省エネ設備への更新や省エネ診断、
家庭向けに高効率給湯器の導入など、省エネ支援を抜本強化しました。
各種施策に関する情報は「省エネポータルサイト」に掲載しています。

省エネポータルサイト

検索

